

第4回理事会

日 時：2019年2月15日（金）18：00～20：00

出席者：理事：8人、監事：1人（Web）

議長：松谷理事長

議事内容：

1. 前回理事会（2018年度 SLNR 第3回理事会および（書面理事会））議事録承認
2. 第23回聖路加看護学会学術大会報告
3. 第24回聖路加看護学会学術大会進捗報告
4. 報告事項（委員会活動について）
5. 新入会会員（入会申込者）審査および退会希望者について
6. 2018年度退会承認〔庶務〕
7. 2019年度予定〔庶務&選挙管理委員〕
8. 将来構想委員会の設置について
9. 定時評議員会について〔庶務〕
10. 2019年度名誉会員について〔庶務〕

11. メーリングリスト運用規程ならびに利用規約について〔広報委員会〕
12. 2019年度予算案について〔会計〕
13. 聖路加看護学会誌投稿規程等の改定について〔学会誌編集委員会〕
14. その他

第7回理事会（書面理事会）

審議期間：2019年3月26日（火）

議事内容：

1. 新入会会員（入会申込者）審査および退会希望者について

報告内容：

- ①聖路加看護学会 看護実践科学助成基金
2019年度「研究助成」選考審査委員会結果について〔学術交流委員会〕

2019年度 一般社団法人聖路加看護学会 定時評議員会報告

日 時：2019年6月7日（金）18：00～19：30

場 所：聖路加国際大学 2号館 1階 ほるかルーム

出席：

評議員：松谷美和子（理事長）、野末聖香（高度実践看護開発検討委員会）、中村めぐみ（理事）、奥裕美（理事）、有森直子、川口千鶴、水戸優子、吉川久美子

委任状：25通

指名理事：小林京子（庶務）、朝川久美子（会計）

第24回学術大会長：林直子

選挙管理委員：西野理英

議事録作成者：松谷美和子理事長

議題

1. 理事長挨拶
評議員、理事ともに任期の最終年を迎える。役員選挙の準備および、次期役員への交代に向けて将来構想委員会を立ち上げ、今後の学会活動について検討を開始している旨が伝えられた。
2. 出席者数の確認：定款第21条-2
評議員33人中、出席8人、委任状25人により合計33人の参加が認められた。評議員会の成立のために必要な過半数（16人）を超えているため、本会が開催されることが確認された。
3. 議事録署名人の指名：定款第24条-2
水戸評議員、吉川評議員が指名され、議事録署名人に任命された。
4. 議事
1) 2018年度事業報告：資料1
(1) 理事会報告（庶務）
2018年度、理事会は定時4回、臨時6回の、合わせて10回開催した。計画された学会事業のほか、2018年度の大きな検討事項は、メーリングリストの作成にかかわる

こと、会費の変更にかかわること、将来構想にかかわることの3点であったことが報告された。

- (2) 定時評議員会報告（庶務）

2018年6月8日に行った定時評議員会について報告された。

- (3) 庶務

2018年度1年間でみると、入退会はあったものの、スタート時（599人）と終了時（590人）の会員数に大きな変化はなかった。なお、退会者のなかには希望退会者のほか、会費の未納による資格喪失者が含まれていることが報告された。

- (4) 会計

収入・支出の管理を税理士の指導の下行った。会費納入率が60%台であり、未納者へは引き続き督促を行った。支出の削減には注力しつつ、会員が会員であることのメリットを感じ、会費納入率の向上につながるようなサービスのための活動には、必要な経費を支出する方針をとったことが報告された。

- (5) 学会誌編集委員会

2018年度も計画どおりに、学会誌第22巻第1号（Webのみ）、第2号を発刊した。新たに投稿論文の種別に「実践報告」を加えるとともに、研究倫理に関する見直しを行い、投稿規程等を改訂したことが報告された。

- (6) 広報委員会

計画どおり、ニュースレター42-45号を発刊し、Webサイトに公開した。なお、名誉会員には郵送している。メーリングリストの運用開始に向け、規程・規約の準備や、運用技術者との連絡等を行ったことが報告された。

- (7) 学術交流委員会

研究助成者の選考を行った。助成者の利便性を高めるため、助成額を「1件あたり10万円×2件」から、「1件あたり20万円×1件程度」とした。また、学術交流集会

を開催したことが報告された。

(8) 高度実践看護開発検討委員会（野末）

2018年度は、高度看護実践家（APN）の継続教育に貢献することを目標に、APNの研究支援に関するセミナーや研究相談会を開催した。セミナーでは、臨床で活躍中のCNSから大変実践的で役立つ内容の講演があり、参加者の満足度は高かった。今年度もセミナー研究相談会を開催する旨が報告された。

以上の2018年度の事業について、承認された。

2) 2018年度決算および監査：資料2-①②

2018年度の財産は、前年度までより減らすことなく推移した。セミナー参加費や、学術大会参加費が前年度より増加した。監査の結果、会計および業務に法令に違反する重大な事実はないことが認められた旨報告され、承認された。

3) 2019年度事業計画および予算：資料3-①②

予算については、会費納入率90%で作成しているため、引き続き納入率の向上に努めなければならないことが報告された。学会誌編集にかかる紙代が削減されたことが予算削減につながり、高度実践看護開発検討委員会が主催するセミナーや、学術大会の参加費が収入として見込まれている一方、メーリングリスト構築にかかわる人件費や、選挙関連業務、さらに庶務活動に係る人件費が昨年度よりも増加している。なお、庶務活動については、業務を業者に委託することも検討したが、費用の面から断念している。

2019年度予算事業計画及び予算については、承認された。付記事項として、予算案の収入予定額と支出予定額を同額にしてはどうかという意見があった。

4) 評議員・役員選挙規程の改正 第6条（被選挙人）について：資料4

資料4のとおり、記載されている条文の番号が未更新であった。規程の改定が承認された。

5) 2019年度選挙について：資料5-①②

評議員選挙（10月）、理事・監事選挙（12月）の予定について説明があった。次期の開始に余裕をもたせるために前回選挙時よりも1か月早いペースで進めている旨、説明があった。

6) メーリングリスト管理運用規程の制定：資料6（庶務）

メーリングリストを管理、運営するにあたり、業務を外部に委託する。個人情報の流用等の問題の発生を防止するため、規程を作成した。なお、システムはUMIN MiLionを使用する予定である。なお、当初双方向性のあるメーリ

ングリストを構築することを考えていたが、理事会・評議員会・各委員等から、会員に向けた情報を発信するものとし、一般の会員からは発信ができないものになる旨、説明があった。規程は承認され、施行日は2019年6月7日とすることになった。

5. 報告

1) 将来構想委員会の設置について

将来構想委員会を設置した。委員長は、太田喜久子氏、委員は、亀井智子理事、三浦友理子氏、蜂ヶ崎令子氏と、松谷美和子理事長である。

2) 2019年度名誉会員について（学会への貢献について）

理事会にて近藤潤子氏を推薦することに決まり、承諾をいただいた旨、報告された。9月の学会総会に参加される（名誉会員証の授与式をする）。

3) 第24回学術大会進捗報告

2019年度第24回学術大会日程：2019年9月14日（土）

これまで企画委員会を5回開催した。テーマは「implementation research 実践の場に根差した新たな研究方略の探求」である。演題登録期間を延長し、6/14が締め切りになっている。昨年度並みの発表数を期待しており、現在多方面に広報をしていることが報告された。なお、準備は順調に進んでいる。

4) 第25回学術大会と大会長について

2020年度第25回学術大会日程：2020年9月16日（土）

大会長は、平林優子氏（信州大学）にお引き受けいただいた。テーマは未定。

5) 一般社団法人看護系学会等社会保険連合代表理事について

本学会から推薦した山田雅子氏が、代表理事に選任された旨が報告された。

以上

【配布資料】

資料1：2018年度事業報告

資料2-①：2018年度決算報告書

資料2-②：2018年度監査報告書

資料3-①：2019年度事業計画

資料3-②：2019年度予算書

資料4：評議員・役員選挙規程改正（案）

資料5-①：2019年度評議員選挙スケジュール（案）

資料5-②：聖路加看護学会評議員選挙告示

資料6：メーリングリスト管理運用規程